

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 未来について考えよう

3 単元の目標

		武蔵野市民科 資質・能力
○知識・技能の習得	・地域の実態や特徴、地域の人々の思いや地域をよりよくしようとしている人々の思いについて理解を深めるとともに、地域をよりよくしようとしている人々の努力や工夫に気付く。	C2
○思考力・判断力・表現力等の育成	・未来がよりよくあるために地域がどうなるとよいか課題を設定し、集めた資料や、様々な立場の人々の意見や考えを聞くことで、多面的に考えるとともに、根拠を明らかにして意見文にまとめ、発表する。 ・未来の私たちの町がよりよくあるために、今の自分たちにできることを考え、実践する。	A2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・私たちの町が未来によりよくあるためにどうしたらよいか、主体的に考えたり、地域の人々とすすんで対話したりして、課題解決に取り組む。 ・私たちの町が未来によりよくあるために、今できることを考え、自ら地域に関わろうとする。	B2

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元①	学校が70周年を迎えるにあたって、学校や地域の歴史を知る。	8	・学校開校70周年という節目を機に、自分たちの学校や地域の歴史を調査し、その歩みを多角的に振り返る。 ・「校舎の形の由来」や「校歌・校章の誕生」などのテーマごとに調べ学習を進め、情報収集・整理・分析を行う。 ※テーマ例：「どうしてフーメラン型なのだろう？」 「校歌や校章はどのように作られたのか？」	国語科「みんなで楽しく過ごすために」
	集めた情報を整理し、学んだことを発信する。	8	・地域の方々インタビューを行うために、事前に質問を準備し、対話を通じて地域への関わりや思いに触れる。 ・調べた内容や聞き取ったことをもとに、他学年や地域の方に伝えるべき価値や自分たちにできる役割を考察する。	国語科「聞いて、考えを伝えよう」 地域コーディネーター
	開校70周年を迎えることを契機として、児童が学校や地域の歴史や歩みに目を向け、その成り立ちや支えてきた人々の思いに気付く、愛着や誇りを育む。	8	・学習の成果を、70周年記念集会に向けたプレゼンテーションや展示などを通じて表現し、発信力を育成する。 ・活動を通じて、学びの振り返りを行い、学校・地域に対する自分自身の意識の変容を言語化・共有する。2学期に学習に向けて、課題意識を高める。	
小単元②	「働く」とは何かを考える。	8	・1学期の振り返りをもとに、新たな課題設定を行う。 ・自分たちの暮らしを支える仕事にはどのようなものがあるかを話し合い、地域の職業について関心をもつ。 ・働くことの意義や理由について、自分の考えを出し合い、身近な大人の働く姿と結び付けて考える。	道徳科「働く」ってどういうこと？ キャリア教育
	地域で働く人々の姿に触れることで、働くことの意味や価値について自分なりに考える力を育てる。	8	・地域で働く人へのインタビューや施設見学などを通して、具体的な仕事内容や働く人の思いを直接聞き取る。 ・実際にその職業に就いている人へのインタビューや講話を通じて、具体的な仕事内容や働く人の思いを直接聞き取る。 ・働く上でのやりがいや課題、価値観に触れる。 ・見学後、働く人々の共通点や職業ごとの違いを比較し、「働くこと」の本質について考察を深める。	地域コーディネーター
	体験的な学習を通して、地域社会の中で人々が果たしている役割や、働くことを通じて得られる充実感・責任感に気付かせ、将来の自分の生き方を見つめる。	8	・学んだことをレポートやスピーチなどにまとめ、他学年や保護者に向けて発信し、伝える力を高める。 ・活動の振り返りを通じて、自分が将来どのように働きたいか、働くことに何を求めるかを考える時間を設ける。3学期の学習に向けて、課題意識を高める。	
小単元③	将来の夢や目標について主体的に考え、自分自身の生き方や社会との関わり方を捉える力を育てる。	8	・2学期の振り返りをもとに、新たな課題設定を行う。 ・自分の将来像をもとに、夢新聞や職業紹介カード、スピーチ原稿などを作成し、自己の考えを表現する。 ・友達と意見交換を行い、異なる考えや価値観を共有し、多様な生き方への理解を深める。 ・将来の夢の実現に向け、今からできること（学習や生活習慣、努力など）を具体的に計画し、自分の行動に生かす。	国語科「おススメパンフレットをつくらう」 特別活動「将来について」
	職業調べやインタビュー、キャリア教育を通じて、社会に貢献する働き方や、自己の適性・興味を見つめ直す機会とし、夢の実現に向けた具体的な行動の大切さを実感させる。	8	・既習事項を確認する。「①70周年に向けて」「②働くって何だろう」 ・お世話になった地域や学校にできることを考え、話し合う。 ・話し合ったことを実行する。 例：奉仕活動	特別活動「奉仕活動について」 国語科「今、私は、ほくは」 家庭科「共に生きる地域での生活」
	活動の振り返りを通して、夢の実現がよりよい社会づくりとどうつながるかを考え、主体的な進路選択への意識を高める。	6	・学んだことを振り返り、共有する。 ・キャリアパスポートに振り返りをまとめる。	特別活動「卒業に向けて」「1年間のまとめと反省」

合計時数 70 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・開校70周年の歴史を調べる活動では、児童が「自分が知りたこと」から学習を出発させ、自ら市役所に足を運んで資料を収集したり、地域の方にインタビューを行ったりするなど、主体的に学びを広げる姿が見られた。調べた内容をもとに学校の歩みや地域とのつながりを整理し、自分たちの学校がどのように支えられてきたのかを理解することができた。 ・地域の社会労務士の方や保護者を講師として招き、働くことについて授業をして頂いた。地域の大人の思いや仕事の価値に触れる学びが実現した。 ・地域の方々から学ぶ機会を通して、将来の生き方に明確な関心をもつ児童が増え、地域社会と自分とのつながりを実感する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童による訪問やインタビューは主体的に行われた一方、目的設定や質問内容、依頼の仕方など、計画性が十分でない場面が見られた。 ・地域コーディネーターを介した連携が増えることで、児童が多様な大人と関わり、自分の学びをより深められる可能性があるため、単元開始前から計画的に連携を図り、外部資源を効果的に授業へ取り入れたい。